

技術のおたずねにこたえて

【おたずね】木製サッシに使うパッキング材について使用上の注意点を教えてください。
(M市, 生)

【おこたえ】現在、木製サッシに使われているパッキング材は、スポンジ系、モヘア系、硬質ゴム系、軟質ゴム系のものであり、それぞれに長所短所があります。その中でどれを選ぶかは用途により異なります。たとえば、引き違い窓ではモヘア系のものが良いでしょう。しかし、この際、窓の開け閉めに多少力が必要となります。また、開き窓では軟質ゴム系のものが良い結果を示しています。特に、中空円形をしたものや 字型をした軟質ゴムパッキンが良い気密性を示す、という報告があります。

パッキング材を取り付ける際の注意点としては、修理等でどうしても、というのでなければ、接着

テープが付いたものは避けて、溝にはめ込むタイプのものが取れ難く良いと思います。また、接着テープのついたものでも、気密を損ねない所を釘打ちすれば、問題はなくなります。窓を設計する場合に、パッキング材のスペースは、閉めた時、1~2mm程度押し付ける位で十分です。あまり、押し付ける量を多くしますと、金具に無理な力が加わるばかりでなく、パッキング材自体のヘタリも早くなるので注意しましょう。堅いパッキング材を使用する場合、1点のクレセントで引き寄せると、上下にすき間ができることがあるので、引き寄せ金具は、2~3カ所に付けて、均等に引き寄せるようにしましょう。

いくら性能の良いパッキング材を使用しても、使い勝手が悪いのではどうしようもありませんから、前述のように用途に合ったパッキング材を選ぶことが大切です。
(加工科)